

博士論文の審査結果の要旨

専攻	保健医療学	分野	看護学
学籍番号	18s3011	院生氏名	奥平寛奈
通学キャンパス	赤坂キャンパス		
論文題目	救急隊員のための周産期症例対応能力向上の教材開発と評価		
審査結果(枠で囲む)	合格		不合格
<p>< 審査結果の要旨 ></p> <p>1. 研究の概要</p> <p>1) 研究目的, 方法, 結果: 本研究は救急隊員の周産期症例対応能力の向上を図るために, 教材設計方法の一つであるインストラクショナルデザインを用いて学習教材を開発し, 学習効果と教材の妥当性を評価することを目的とした。</p> <p>研究1として, 先行文献の精読および5名の救急救命士に半構成的インタビュー調査を行い, その結果に基づきe-learning教材を開発した。</p> <p>研究2として, e-learningシステムのMoodleに教材を実装し, 対象者を介入群と待機群に割り付けた準実験研究を行った。評価は学習前, 学習後, 学習3か月後(介入群のみ)に行い, 満足度, 理解度, 学習行動から学習効果を評価した。分析対象者は介入群36名, 待機群21名であった。結果, 介入群は待機群と比較して学習後に知識とスキルが有意に上昇しており教材での学習効果が認められた。また教材は開発過程において専門家の評価を受けながら行うことで内容の妥当性を担保し, かつ救急隊員のニーズに合った妥当な内容であることが示唆された。</p> <p>2) 研究方法, 論証, 論文形式について</p> <p>本学倫理審査委員会の承認を得て実施しており, データの取り扱い等問題はなかった。本研究は介入群, 待機群を比較するランダム化比較法をとっており, 評価も事前, 直後, 3ヶ月と追跡調査を実施していることから, 教育介入の有効性を検証する研究手法として信頼性が高く, 適切な方略を用いていた。また, 教材開発に当たっては医師, 助産師, 救急隊員等の専門家より評価を受け妥当性を担保されていた。論文の構成も適切であり, 論文は論旨に一貫性があり, 論理的に記述されていた。</p> <p>3) 知見の新規性と価値について</p> <p>救急隊員を対象とした周産期関連のセルフラーニング教材は存在せず, その開発は本邦の救急医療体制の強化として社会に貢献できる研究として高く評価できる。また教材は現場の救急隊員のニーズを反映し, 救急隊員自身がセルフラーニングできるという点に独創性がある。</p> <p>2. 審査経過について</p> <p>12月4日に初回審査を実施した。周産期救急の現状と教育の必要性について, 文言の統一, 表, 図の記載方法, 教材の評価について修正を求めたところ適切に修正された。</p> <p>3. 口頭試問の結果</p> <p>口頭試問において適切に回答した。</p> <p>4. 合否</p> <p>以上の結果から, 審査会の審査員全員は本論文が著者に博士(看護学)の学位を授与するに十分な価値があるものと認めた。</p>			
論文審査担当者	<p>主 査 吉村 恵美子</p> <p>副 査 鈴木 由美</p> <p>副 査 石井 美恵子</p>		